

## 第22回次世代農業フォーラムのご案内

後援：スマートシニアビジネス倶楽部（SSBC）

各位

立夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。毎度格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。さて、第22回次世代農業フォーラムを下記のごとく開催致しますので、万障お繰り合わせの上、ご出席賜れば幸いです。

なお、今回から、懇親会の飲食は、セミナー弁当を注文致します都合上、参加希望者は、前々日の5月30日締め切りで（厳守）、下記の※印の申込フォーム URL から、お申込みくださいませ。

また、当日は午後1時にならないと会議室に入れませんので、会議室前で受付を済ませた方は、ロビーでお待ちいただきますよう、お願い申し上げます。

次世代農業フォーラム・座長 荒木義修（A・アソシエイツ研究所）

日時：令和元年6月1日（土）13時～17時30分（受付開始：12時45分）

場所：宮崎県東京ビル会議室（JR、地下鉄南北線・有楽町線、都営新宿線「市ヶ谷駅」より徒歩約5分）

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目8番2号

地図 <https://yahoo.jp/BsSffU>

会費：参加費 2000円 懇親会費 1000円

参加希望者は、下記の申込フォーム URL を、Ctrl を押しながら左クリックして登録をお済ませ下さい。なお、懇親会に出席される方は、申込フォーム中で、必ず、該当欄（出席・弁当注文）にチェックをお願いします。当日キャンセルされた方は、弁当代金を別途徴収いたしますので、悪しからずご了承くださいませ。

※ 申込フォーム URL

<https://forms.gle/bqlqwr3MkgZGbVkl6>

### 【プログラム】

13:00-13:05 開会の辞

13:05-13:45 ① 有江 力（東京農工大学副学長、グローバル教育院長）

テーマ「理系研究者は社会の役に立つ人材か？」

【報告要旨】東京農工大学は、農学系および工学系からなる理系国立大学で、国立大学の機能強化の方向性に応じた類型で、「卓越した教育研究を推進する」ことを選択した。そのため、「世界が認知する研究基軸大学」となるべく、学長ビジョンに基づいて研究・教育に邁進している。農学系・工学系から輩出する高い専門性や研究力を備えた博士が、社会で活躍、社会に貢献してくれるためにはどうしたら良いのか？社会からはしばしば、「理系博士は、キャリアパスとしてアカデミアばかりを見ている、視野が狭く使いにくい」、などのお小言をいただく。理系博士には、高い専門性・研究力だけに立脚せず、是非とも広い視野、他の理解力、社会性、ビジネス感覚なども持ち合わせ、社会の役に立ってもらいたい。農工大の学長ビジョンのひとつが、「高度なイノベーションリーダーの養成」であり、これに基づいて、農工大ではこれまで、「アグロ・イノベーション人材」、「アントレプレナー育成」、「リーディング大学院」等の人材育成プログラムを実施してきた。これらの成果を踏まえ、2019年度からは、「理系研究者ビジョナリープログラム」を展開、大学院学生と企業若手研究者がチームを組んでビジネスプランニングなどに取り組むことで、理系研究者の「イノベーション人材力」アップを図ることとしている。農工大のこれまでおよび現在の多様なアクティビティや、その中で生まれてきた学生発の起業例などをご紹介させていただきます。

13:45-14:15 グループ・ディスカッション、グループ・リーダー報告

14:15-14:30 <休憩>

14:30-15:10 ② 有江 力 (東京農工大学副学長、グローバル教育院長)

テーマ「植物も病気にかかる?—植物と病原微生物の戦い—」

### 【報告要旨】

我々は、体調を崩すと医師のお世話になる。植物は、病気にかかるのか?病気にかかったらどうするのか?

我々の食卓にならぶ食べ物の元は、全て栽培植物であると言っても過言でない。植物栽培の過程で起きる病気はどんな被害を及ぼすのか、どの様に対処されているのかなどについて簡単にご紹介する。

私は、「トマト萎凋病」を長く研究対象としてきた。トマト萎凋病は、*Fusarium oxysporum* という菌によって引き起こされる土壌伝染病である。*Fusarium oxysporum* は、どこにでも生息しているかびで (あなたのそばにもいます)、殆ど病原性を持たない。にもかかわらず、一部の株が植物に対する病原性を示す。しかも、ある株は、トマトだけに病気を起こす、他の株は、バナナだけに病気を起こすなど、好き嫌いが激しい。この好き嫌い (宿主特異性という) のしくみ、どうやってトマトに感染することができる病原性の株が生まれてきたのか、などに関する研究について、トマトと病原の共進化、遺伝子のはたらき、最近流行りのゲノム科学などの視点からご紹介する。

15:10-15:40 グループ・ディスカッション、グループ・リーダー報告

15:50-17:25 <懇親会> 参加者の自己紹介

17:25-17:30 閉会の辞

18:30- <二次会> 「みなハウス」(会費:男性3500円、女性2000円)

中央区銀座8-8-7 第3ソワレドビル5F TEL 03-3574-0050

(銀座七丁目と八丁目交差点のほぼ中ほど、資生堂から徒歩1分)

地図URL <https://yahoo.jp/mVsoYX>

### 【有江力氏のプロフィール】

1961年1月25日生まれ

1989年3月 東京大学大学院農学研究科博士課程修了・農学博士

1989年4月 日本学術振興会特別研究員

1989年6月 理化学研究所研究員

2000年4月 東京農工大学助教授

2010年4月 国立大学法人東京農工大学 大学院農学研究院 教授

2015年4月 同学長補佐(グローバル戦略担当)(~平成31年3月)

2017年4月 同イノベーション推進機構長(~現在まで)

2019年4月 同副学長、グローバル教育院長

### 【次世代農業フォーラムについて】<http://www.a-associates.co.jp/newagriculture.html>

本フォーラムは、世界人口増・地球温暖化による食糧危機や異常気象に向け、日本農業の再興と地域活性化(田園回帰)、さらには人道的立場から世界の貧困層幼児の栄養改善事業を目指して、異分野情報交換と相互啓発のための会です。したがって、参加者の専門の如何は問いません。本フォーラムの特徴は、2つの講演(40分)ごとに、4~5人で構成される5つのグループに分かれ、講演内容についてディスカッション(15分)を行い、その後、グループ・リーダーのまとめ報告(2分)と報告者のフィードバック(4分)という形式をとっています。また、講演ごとに、グループ・メンバーとグループ・リーダーのローテーションを行います。

他のフォーラムや研究会と違って、年会費等のオブリゲーションは一切ありません。本フォーラムに来ていただくと、グループ・ディスカッション方式によって、単なる「講演会+名刺交換会」以上の絶大な参

加効用が得られます。人財の多様性 (DIVERSITY) からなる知の融合が、コラボレーションとイノベーションを創発させます。さまざまなバックグラウンドや経験、考え方をもつヒトの集まり、そこでの刺激が、誰もが思いつかなかった発想やビジネスモデルを呼び起こします。また銀座から直に出前で届けてもらう本格的なお寿司が好評を博しています。また、グループ・ディスカッションのおかげで、参加者相互の親和感が短期間で高揚し、懇親会も自己紹介コーナーで一挙に最高潮に盛り上がり、情報交換、人脈づくりに最適！